

神経学

[講義] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》 中川賀嗣 poverame@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

神経系の機能・構造について理解し、その器質的障害や代謝障害によって生じる疾患・病態について、その原因、疫学、病態生理、症候、診断法、治療などを学ぶ。神経系には大脳、小脳、脊髄、末梢神経、筋までを含み、その症候も意識、運動、感覚、高次脳機能など幅広い。こうした症候を理解するためには理学所見に加え機能・構造的な変化を評価することが必要でありCTやMRIによる画像診断、電気生理学的検査等についても学ぶ。

【学修目標】

リハビリテーションを行う上で不可欠な、神経系の疾患に関する病因、病態、診断、医学的治療についての知識を身につける。
一般目標

1. 中枢神経の構造、末梢神経の構造の概略を説明できる。
2. 中枢性神経損傷、末梢性神経損傷の病態およびそれによって生じる症状を理解し、神経の構造、神経の特性に基づいて説明できる。
3. 中枢性神経損傷、末梢性神経損傷の評価法を理解する。
4. 各神経疾患の医学的治療について理解する。

行動目標

1. 症状を記載できる。
2. 記載した症状について文献検索できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	序論	神経系の基本構造 神経系における情報伝達機能 臨床神経学とは 臨床神経学を学ぶ上で大事なこと 神経疾患オーバービュー	中川賀嗣
2	中枢神経系の構造と機能	脊髄 脳幹・小脳 間脳・大脳基底核 大脳皮質 大脳白質 伝導路 遠心性（下降性）と求心性（上行性）	中川賀嗣
3	末梢神経系の構造と機能	末梢神経系の構造 脳神経オーバービュー 第I～VIII脳神経 第IX～XII脳神経 脊髄神経と神経叢 自律神経系	中川賀嗣
4	症候学 運動/感覚系	脳神経 第I～IV、VI脳神経 脳神経 第V、VII～XII脳神経 運動系 麻痺・失調・不随意運動 運動系 筋トーンと反射 感覚系/起立と歩行/髄膜刺激	中川賀嗣
5	症候学 高次脳機能	意識と意識障害 高次脳機能障害と認知症 失語・失読・失書 健忘・注意障害・遂行機能障害 失行・失認・視空間認知障害 社会的認知障害・半球離断症候群	中川賀嗣
6	神経学的診断	神経学的診断と神経心理学的検査 神経学的補助診断法 電気生理学的検査 神経学的補助診断法 画像診断	中川賀嗣
7	脳血管障害 病巣と症状	脳循環 2つの血管系	中川賀嗣

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		血管支配領域 脳梗塞症状 内頸動脈系 脳梗塞症状 椎骨脳底動脈系/分水嶺脳梗塞	
8	脳血管障害 疾患の種類	脳血管障害の分類 脳梗塞の診断と治療/一過性脳虚血発作(TIA) 出血性疾患 脳卒中をきたす疾患 脳卒中以外の脳血管障害	中川賀嗣
9	感染症/自己免疫疾患(脱髄疾患含む)	感染症と自己免疫疾患 感染症 髄膜炎・脳炎/脳膿瘍 感染症 プリオン病(クロイツフェルト・ヤコブ病) 自己免疫疾患 膠原病と類縁疾患 自己免疫疾患 脱髄疾患	中川賀嗣
10	末梢神経障害/筋疾患	末梢神経障害 様々なニューロパチー 末梢神経障害 多発根ニューロパチー 筋疾患 遺伝性ミオパチー 筋疾患 非遺伝性ミオパチー 神経筋接合部疾患	中川賀嗣
11	脳腫瘍/頭部外傷	脳腫瘍 症候 脳腫瘍 悪性腫瘍 脳腫瘍 良性腫瘍 頭部外傷 分類と症候 頭部外傷 脳損傷と後遺症	中川賀嗣
12	水頭症/代謝性疾患(遺伝形式含む)/脊髄疾患	水頭症 先天代謝疾患 遺伝形式 代謝性脳症 脊髄疾患	中川賀嗣
13	神経変性疾患 運動障害を中心に	神経変性疾患の特徴と分類 大脳基底核疾患と不随意運動 パーキンソン病とパーキンソンニズム 運動ニューロン疾患	中川賀嗣
14	神経変性疾患 認知症を中心に	認知症と軽度認知障害 アルツハイマー型認知症 レビー小体型認知症 前頭側頭葉変性症 進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核症候群	中川賀嗣
15	頭痛/てんかん	頭痛 てんかん	中川賀嗣

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末試験100%

【教科書】

永井千代子著 15章で学ぶ ビジュアル臨床神経学 医歯薬出版株式会社 2021年

【参考書】

江藤文夫、飯島節 編集 神経内科学テキスト改訂第4版 南江堂 2017年

【学修の準備】

神経の解剖、生理については十分予習しておくこと(80分)。

神経障害について理解を深めるために、精神症状、内科疾患症状との違い、共通点を整理しながら学ぶこと(60分)。

講義の内容を復習し、神経学の講義全体について見渡し、相互の関係を理解すること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(2026年度・リハビリテーション科学部)

DP2 . 言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

中川賀嗣(医師)

【実務経験を活かした教育内容】

医師としての経験を活かし、実践的な内容にも言及し、理解を深める。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している